



2022

八十二レポート

The Hachijuni Bank, LTD.

営業のご報告

ごあいさつ



取締役会長 湯本 昭一



取締役頭取 松下 正樹

平素より八十二銀行をご利用、お引立ていただき、誠にありがとうございます。

当行は1931年（昭和6年）の創立以来、地域の金融機関として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。これもひとえにお客さまや株主の皆様、そして地域の皆様の永年にわたるご支援の賜物と深く感謝しております。

当行についてのご理解をより一層深めていただくとともに、2022年3月期の業績、営業内容をわかりやすくご紹介するため「八十二レポート2022」を作成しました。皆様のご参考になれば幸いです。

2021年度のが国経済は、海外の景気回復を背景に輸出や設備投資が持ち直したものの、個人消費は新型コロナウイルスの感染状況に左右されたことから、全体として力強さを欠きました。このような経済環境の下、当行ではお客さまへの金融支援に全力で取り組み、2021年度末における融資残高および預金残高は、ともに過去最高を更新することができました。

2021年に策定した中期経営ビジョン2021「『金融×非金融×リレーション』でお客さまと地域を支援する」では、サステナビリティを経営の根幹に据え、金融および非金融サービスの両面から地域の社会的課題を解決していく姿を掲げました。大きく変化していく次代を目前にした地域社会をサステナブルな未来へと導く原動力となるため、ビジネスモデルの変革に取り組んでまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

Profile

名称	株式会社八十二銀行	従業員数	3,067人
本店所在地	〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8	資本金	522億円
電話番号	026(227)1182	発行済株式数	511,103千株
創立	1931年8月1日	総資産	13兆2,652億円
拠点	国内 151店舗 本支店142（長野県内122） 出張所 9（長野県内 9） 店舗外現金自動設備221ヵ所 海外 支店1（香港） 駐在員事務所3 （上海、バンコク、シンガポール）	純資産	8,340億円
		預金残高	8兆666億円
		貸出金残高	5兆9,740億円
		総自己資本比率 （国際統一基準）	連結 19.06% 単体 17.62%
			（2022年3月31日現在）

Contents

ごあいさつ	①
SDGsの取り組み	③
法人のお客さまへ	⑤
個人のお客さまへ	⑦
業績ハイライト	⑨
経営の健全性	⑪
営業拠点のご案内	⑫
連結決算の状況	⑬
単体決算の状況	⑭
株式のご案内	⑮

注：本誌に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。

経営理念

「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」

中期経営ビジョン2021

「金融×非金融×リレーション」でお客さまと地域を支援する

「ライフサポートビジネスの深化」／「総合金融サービス・機能の提供」
「経営の根幹としてのサステナビリティ」
「業務・組織のデジタル改革」／「成長とやりがいを支える人事改革」

中期経営目標

親会社株主に帰属する当期純利益	2025年度	250億円以上
連単倍率	2025年度	1.25倍以上
連結配当性向	2022年度～2025年度	毎年度40%以上
温室効果ガス（CO ₂ ）排出量	2023年度	ネット・ゼロ
	2030年度	2013年度比60%削減

求められる人財像

「強みの確立」「進取の精神」「自ら考え行動する」



SDGsの取組み

SDGs外貨定期預金



2021年12月から運用益の一部を、お客さまと当行の双方からSDGsに関係する団体等へ寄付する機能を付加した「SDGs外貨定期預金」の取扱いを開始しました。ご成約第1号案件では、長野県立こども病院様へ寄贈しました。



棚田米の寄贈



創立90周年事業として、長野県内の棚田の保全に貢献するため、千曲市姨捨および上田市稲倉において棚田保全活動を開始しました。

初めて収穫した棚田米は、長野県内115ヶ所の子ども食堂の運営をサポートされるNPO法人ホットライン信州様へ寄贈しました。



文化継承活動助成事業



創立90周年記念事業として、八十二文化財団と地域の民俗芸能、食文化等の継承活動を応援する「地域の文化継承活動助成事業」を開始しました。

次代を担う子どもたちと地域の方々によるその土地に根差した活動を応援していきます。



2021年度助成先 15事業 (14団体)

金融経済教育



高校生が経済や金融に関する知識を競う「エコノミクス甲子園」長野大会の開催や、小・中・高等学校の児童・生徒の職業体験の受け入れなど、多角的に金融経済教育に取り組んでいます。

職業体験では、紙幣の数え方などの実習のほか、金融経済の仕組みや銀行の社会的役割についての講義を行い、次代を担う子どもたちの金融リテラシー向上に努めています。



サステナブルファイナンス



中期経営ビジョン2021で掲げる「経営の根幹としてのサステナビリティ」を実現するため、2030年度までにサステナブルファイナンス（持続可能な地域社会の実現に資する投融资）の実行累計1.5兆円（うち環境分野で1兆円）の推進に取り組んでいます。

専用 新商品	SDGsローン	お客さま自身が設定されたSDGsに関連する目標の達成状況に応じて金利が変動
	PIF (ポジティブ・インパクト・ファイナンス)	当行と当行グループの長野経済研究所がお客さまの環境・社会・経済に与えるインパクトを分析し、特定されたインパクトの増大と低減を支援
	SLL (サステナビリティ・リンク・ローン)	国際原則に適合したサステナビリティに関する野心的な挑戦目標の達成状況に応じて金利等の融資条件が変動
	八十二サステナビリティ1号ファンド	新事業・新技術の創出に取り組む企業や後継者不在などの事業承継に課題を抱える企業のほか、再生可能エネルギー事業・脱炭素化を資本面からサポート

2021年度実績 サステナブルファイナンス実行額：1,554億円（うち環境分野：830億円）

八十二「地方創生・SDGs応援私募債（地域活性化型）」



八十二「地方創生・SDGs応援私募債（地域活性化型）」は、2019年11月から取扱いを開始し、私募債発行に際して当行が発行企業さまから受け取る諸費用の一部を優遇し、発行企業さまの地域支援（優遇分による寄付）に役立てていただいています。

これまでの【教育口】・【福祉口】・【スポーツ振興口】に2020年度から【医療口】・【環境口】・【災害復興口】を寄付対象に追加し、コロナ禍における医療現場支援等にもご活用いただいています。

2021年度 引受実績 129件/95億円



法人のお客さまへ

創業・開業期

■ 起業・創業支援

起業・創業に関心のあるお客さまをワンストップかつスピーディーにサポートしています。

長野県等と共催で開催した「第10回信州ベンチャーサミット」では、起業家によるプレゼンテーションや有識者によるパネルディスカッションを実施し、長野県内の創業機運の醸成を図りました。

今後も長野県内での創業を希望されるお客さまを幅広く応援していきます。



起業・創業支援先数 282先 (2021年度)

成長・安定・成熟期

■ 地域産業成長支援

ビジネスマッチングや商談会等を通じ、販路拡大や新事業展開、経営の効率化を支援しています。

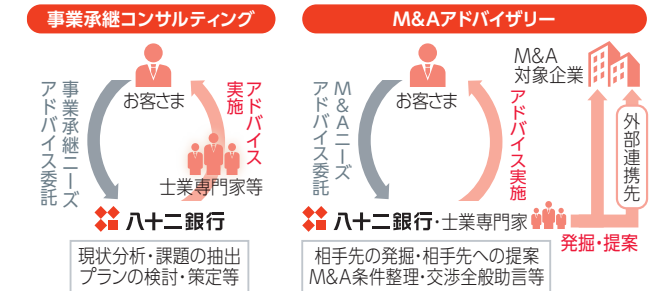
本部「営業店サポートチーム」を増員し、お客さまの補助金等の申請支援体制を強化しました。さらに、社会的関心の高まる脱炭素化についてはカーボンニュートラルセミナーを開催し、事業者さまの企業価値向上の取組みをサポートしました。



ビジネスマッチング成約件数 481件 (2021年度)

■ 事業承継・M&A

後継者への円滑な自社株式の承継や、戦略的な事業の選択と集中など、一段と高まるM&Aと事業承継ニーズにお応えするため、専門的なサポートチームがワンストップでお客さまの課題解決をお手伝いしています。



経営改善・事業再生期

■ 経営改善・事業再生支援

コロナ禍で事業に影響を受けているお客さまに対して、営業店と本部が一体となり、資金繰り支援策の策定・実行や公的制度の活用など積極的にアドバイスしています。

今後、経営改善・事業再生支援を必要とされるお客さまの増加も想定され、当行グループおよび外部連携機関との幅広いネットワークを活用し、お客さまの経営支援、経営課題の解決に全力で取り組んでいきます。



八十二電子契約サービス

融資取引におけるお客さまの利便性向上を図るため、デジタル技術を活用した「八十二電子契約サービス」を開始しました。「八十二電子契約サービス」では、「電子契約サービス」と「当座貸越借入請求サービス」をご提供しています。

電子契約サービス

契約書類への署名・押印に代え、Web上で契約手続きが完了します

特徴	対象となるお取引
①手続きがWebでスピーディー	当行所定の融資取引が対象となります
②電子署名でセキュリティ向上	※個人のお客さま向け「住宅ローン」「大型フリーローン」等も対象となります
③印紙代が不要	

当座貸越借入請求サービス

当座貸越契約における極度内のお借入申込みがWeb上で完了します

特徴	主なご利用要件
①お借入申込みがWebで完結	①法人または個人で事業を営んでいる
②いつでも手続き可能	②当座貸越契約を締結している
③どこでも取引状況を確認	③八十二電子契約サービスの契約がある など

海外ビジネスのサポート

貿易実務のアドバイスから為替リスクヘッジや海外進出のご相談まで、地銀有数の海外拠点網とネットワークを活用し、お客さまの海外ビジネスをサポートします。

国内の支店および香港支店では、お客さまの海外現地法人に向けた直接融資（クロスボーダー融資）にも対応しています。



当行のアジア拠点と提携銀行

★当行の行員が常駐しています。

中国: 中国工商银行、中国銀行
 香港: 香港銀行、東亜銀行
 台湾: 中国信託商業銀行
 インド: ICI銀行、インドステイト銀行
 上海駐在員事務所
 香港支店
 ベトナム: ベトナム銀行、ベトナム信託商業銀行
 フィリピン: BDO銀行
 ラオス: ラオス外国貿易銀行
 タイ: タイ銀行、タイ信託商業銀行
 カンボジア: カンボジア銀行、カンボジア信託商業銀行
 マレーシア: CIMB銀行
 シンガポール駐在員事務所
 インドネシア: CIMBニガ銀行
 その他提携銀行: オーストラリア・ニュージーランド銀行、Banamex (メキシコ)

(2022年3月31日現在)

個人のお客さまへ

かりる

■住宅ローン向け疾病保障付団信

2021年5月から金利上乘せがなく、すべての病気・ケガが保障される「全疾病保障ベーシックプラン」を商品ラインナップに追加しました。併せて、余命6ヶ月以内と判断された時に住宅ローン残高が0円となる「リビングニーズ特約」を追加しました。幅広いラインナップからお客さまのライフプランに最適な保障内容をお選びいただけます。



ふやす・ためる

■つみたてNISA

「つみたてNISA」は制度開始以降、全国で利用者数が増加しています。当行も積極的にご提案し、ご利用者数は地方銀行トップクラスとなりました。2022年9月末まで実施している「資産形成応援プラン『つみたま』」も活用し、お客さまの資産形成をサポートしていきます。



そなえる

■相続対策

個人向け信託業務では、円満な相続を実現するために当行が遺言書の作成・保管・執行を行う商品や、認知症リスクに備え財産管理を支援する商品等を取り扱っています。また、相続に関するお悩みをご相談いただける機会として、相続個別相談会を各地で開催しています。信託商品や相談会を通じ、お客さまに寄り添ったご提案をしています。



便利につかう

■キャッシュレス決済

クレジットカード「HaLuCa」は、Visaのタッチ決済機能を搭載し、より便利にお使いいただけるようになりました。このほかに即時口座引落しの「82Debit (JCB)」や、当行預金口座からの各種決済サービスへのチャージ等、幅広いキャッシュレス決済ニーズにお応えしています。「八十二銀行アプリ」では、いつでも口座残高や明細をご確認いただけます。

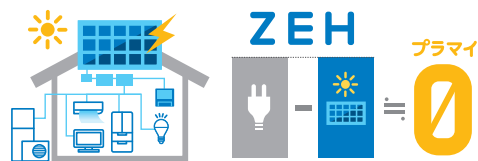


ZEH Thanksプレゼント

中期経営ビジョン2021では「サステナビリティ」を経営の根幹に位置付け、お客さまのSDGsの取組みを金融サービスから後押ししています。

2022年4月からZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）基準を満たす物件を対象とした住宅ローン等をご利用いただくお客さまに、スマートフォン用のアプリポイント1,000円相当を進呈する「ZEH Thanksプレゼント」を開始しました。ZEH普及に取り組む住宅建築業者さまも応援します。

ゼッチ ZEHとは？



ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの略称。「高断熱+省エネ(高効率設備)+創エネ(太陽光発電等)」により、年間エネルギー消費量の収支がゼロとなることを目指した環境配慮型住宅です。

はちのの〈ライフサポートサービス〉

金融サービスの高度化に加え、充実した非金融サービスのご提供によってお客さまからご支持いただける生涯取引銀行を目指しています。

2021年からお客さまの日常生活に関するさまざまな「お困りごと」を解決する「はちのの〈ライフサポートサービス〉」を開始しました。ご希望に合わせて、安心して任せられる専門の提携先企業をご紹介します。

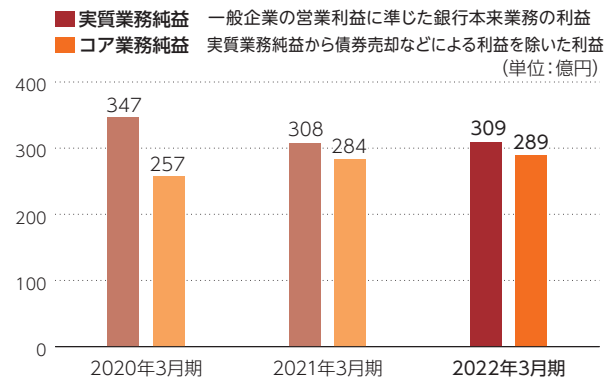
ご紹介
手数料
不要

主なサービス内容

住まい	くらし	シニア
<p>ハウスクリーニング エアコン/浴室/トイレ など</p> <p>リフォーム・ 外構工事</p>	<p>庭木の剪定・ 庭の除草</p> <p>家事代行 掃除・洗濯など</p>	<p>高齢者の見守り</p> <p>仏壇・仏具 お墓購入</p>

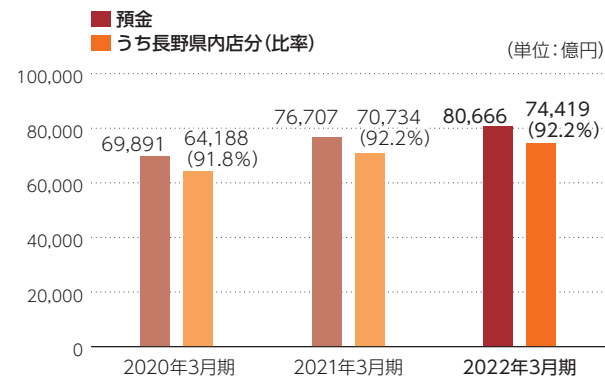
業績ハイライト

■ 実質業務純益・コア業務純益*



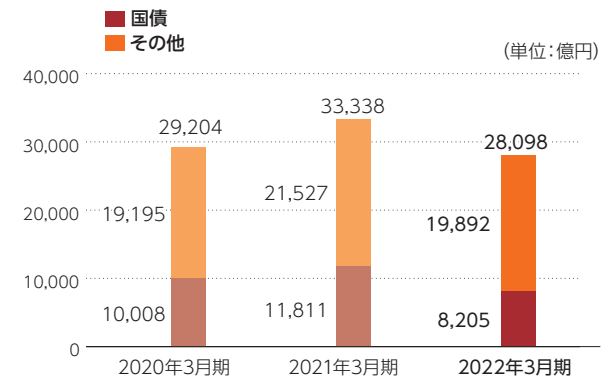
預け金利息の増加や経費の減少によりコア業務純益は前期比4億円増加しましたが、国債等債券売却損の増加等により実質業務純益は前期並みとなりました。

■ 預金



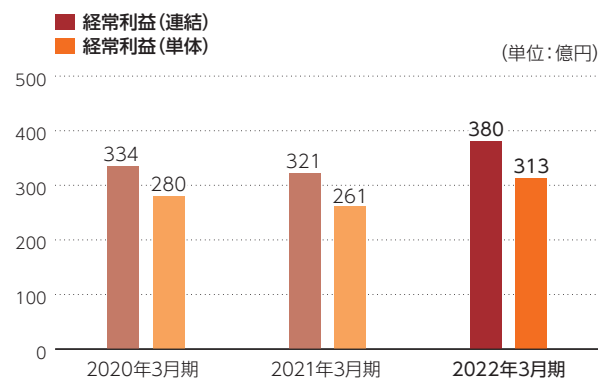
個人預金、公金預金等の増加により8兆666億円(前期末比3,958億円増加)となりました。うち、長野県内店預金は7兆4,419億円(前期末比3,684億円増加)となりました。

■ 有価証券残高



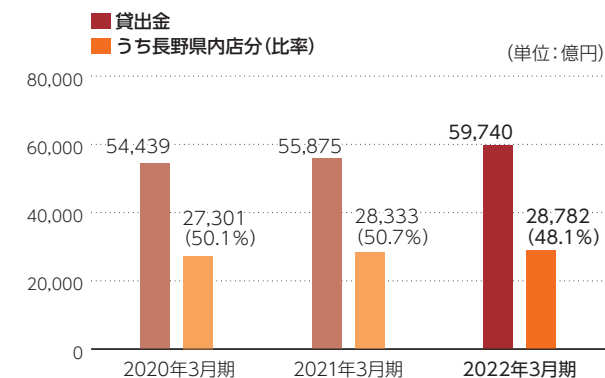
国債や外国証券などの減少により2兆8,098億円(前期末比5,240億円減少)となりました。

■ 経常利益



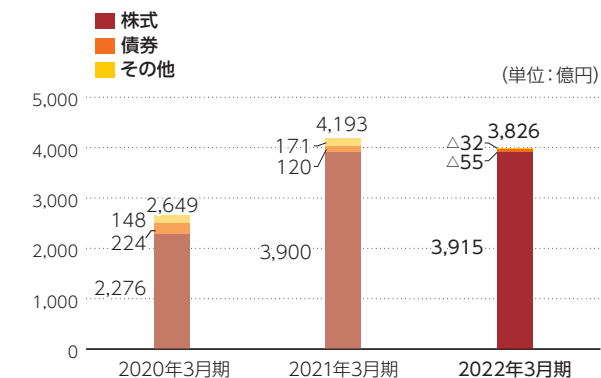
実質業務純益は前期並みでしたが、不良債権処理額の減少や金銭の信託運用益の増加などにより、単体経常利益は313億円(前期比52億円増加)となりました。

■ 貸出金



主に中央政府向け貸出金の増加により5兆9,740億円(前期末比3,865億円増加)となりました。うち、長野県内店貸出金は2兆8,782億円(前期末比449億円増加)となりました。

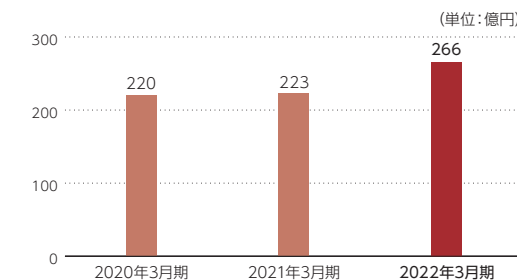
■ 有価証券評価損益



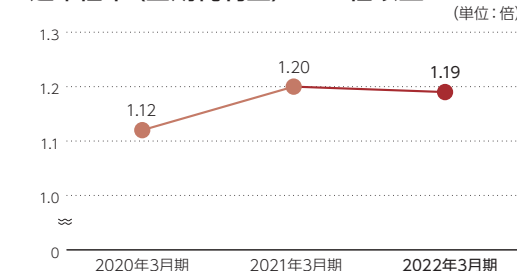
株式評価益は増加しましたが債券やその他の減少により3,826億円(前期末比366億円減少)となりました。

目標とする経営指標(2026年3月)

● 親会社株主に帰属する当期純利益 250億円以上



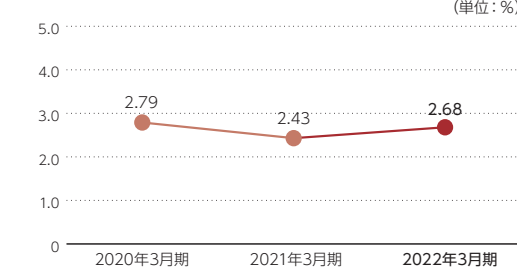
● 連単倍率(当期純利益) 1.25倍以上



[連単倍率] 親会社の単体決算の利益に対する連結決算の利益の倍率

長期的経営指標

● ROE(株主資本利益率) 5%以上



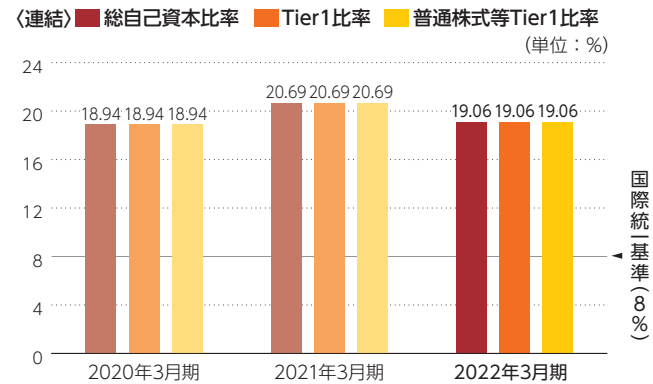
[ROE(株主資本利益率)] 企業の収益性を測る指標

*当期に団体信用生命保険の配当金を実質業務純益・コア業務純益に計上する組替えを行い、過年度にも適用しています。

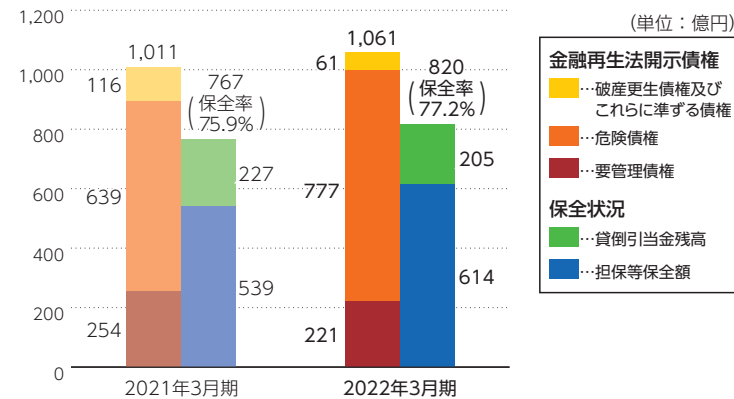
経営の健全性

■ 連結自己資本比率(国際統一基準)

自己資本比率は金融機関の健全性を測る指標のひとつです。当行の総自己資本比率(2022年3月期)は、連結で19.06%となり、自己資本比率規制(国際統一基準)で必要とされる8%を大きく上回っています。



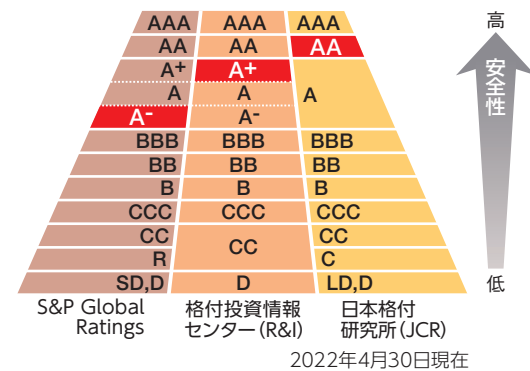
■ 金融再生法開示債権と保全状況



注：金融再生法開示債権は対象が貸出金のほか、外国為替、支払承諾見返、未収利息、仮払金、保証付私募債となっています。なお、部分直接償却は実施していません。

■ 格付

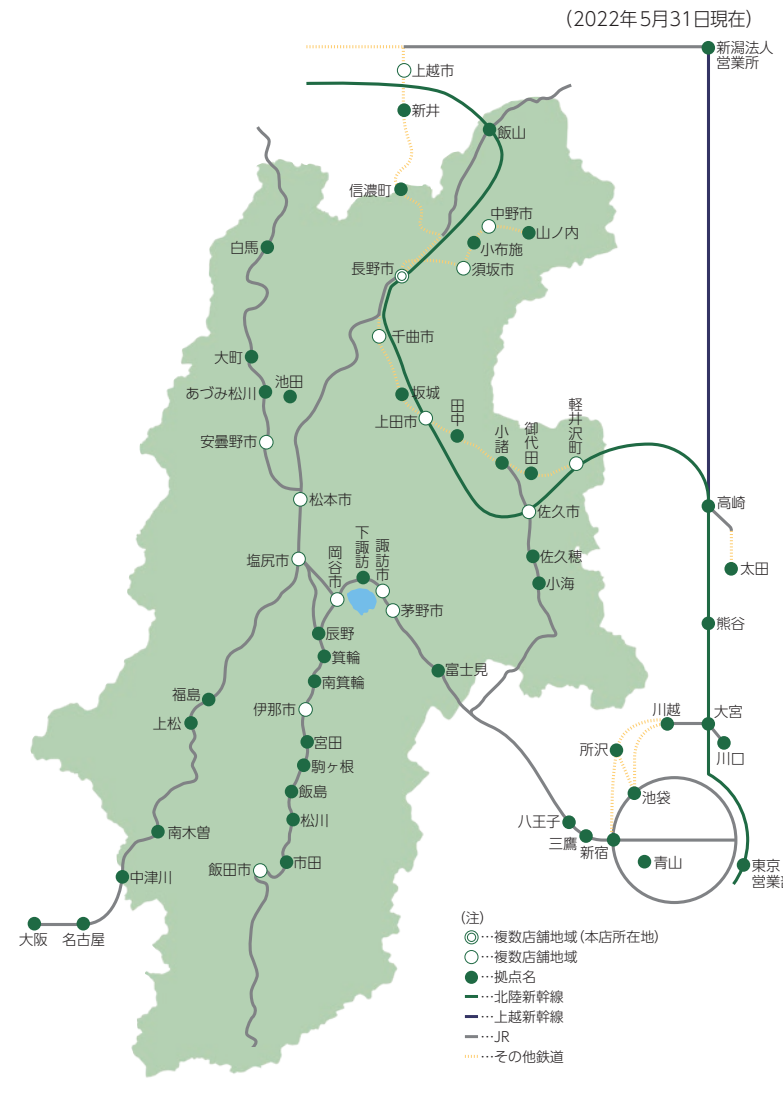
当行は長期格付について、S&P Global Ratingsから「A-」(金融債務を履行する能力は高い)を、格付投資情報センター(R&I)から「A+」(信用力は高く部分的に優れた要素がある)を、日本格付研究所(JCR)から「AA」(債務履行の確実性は非常に高い)の格付を取得しており、当行に対する高い評価を示しています。



	2021年3月期	2022年3月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	116(0.20%)	61(0.10%)
危険債権	639(1.12%)	777(1.28%)
要管理債権	254(0.44%)	221(0.36%)
小計	1,011(1.78%)	1,061(1.74%)
正常債権	55,780	59,658
総与信残高	56,791	60,719

()内は、総与信残高に占める比率

営業拠点のご案内



複数店舗地域一覧

- **長野市**
本店営業部、長野、県庁内、大門町、昭和通営業部、長野駅前、長野東、七瀬、吉田(三才[出])、長野南、長野北、東和田、長野市役所、浅川若槻、朝陽、風間、安茂里、豊野、新町、若穂、南長池、更北、川中島、松代、篠ノ井、今井、ローンプラザ昭和通、ローンプラザ今井
- **須坂市**
須坂(須坂駅前)、須坂市役所[出]
- **中野市**
中野(中野西)
- **千曲市**
屋代、稻荷山、上山田、戸倉
- **上田市**
上田、上田市役所[出]、花園[出]、上田東、丸子、三好町(川西)、塩田、神科(真田)、ローンプラザ上田東
- **軽井沢町**
中軽井沢、軽井沢
- **佐久市**
岩村田、佐久市役所[出]、野沢(中込)、佐久中央、臼田、望月、ローンプラザ佐久中央
- **松本市**
松本営業部(清水[出])、松本市役所[出]、松本駅前(深志)、南松本(平田)、村井、寿、信州大学前、惣社、西松本、笹賀、つかま、浅間温泉、波田、梓川、ローンプラザ南松本
- **安曇野市**
明科、三郷、豊科、穂高、ローンプラザ安曇野
- **塩尻市**
塩尻、塩尻西、広丘、ローンプラザ広丘
- **岡谷市**
岡谷、岡谷市役所[出]、長地
- **諏訪市**
諏訪(上諏訪駅前)、諏訪南、ローンプラザ諏訪南
- **茅野市**
茅野、茅野駅前
- **伊那市**
伊那、伊那市役所[出]、伊那市駅前、伊那北、高遠、ローンプラザ伊那
- **飯田市**
飯田、飯田駅前、伝馬町、八幡(飯田東)、天竜峡、上郷、鼎、伊賀良、ローンプラザ伝馬町
- **上越市**
高田、直江津、潟町、ローンプラザ上越

海外拠点

香港支店、上海駐在員事務所、バンコク駐在員事務所、シンガポール駐在員事務所

2022年3月期 連結決算の状況

■ 連結貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位：百万円)		(単位：百万円)	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	4,049,642	預金	8,049,875
コールローン及び買入手形	20,000	譲渡性預金	132,507
買入金銭債権	116,411	コールマネー及び売渡手形	1,504,861
特定取引資産	13,370	売現先勘定	53,041
金銭の信託	79,448	債券貸借取引受入担保金	322,484
有価証券	2,801,655	特定取引負債	4,279
貸出金	5,931,315	借入金	2,087,634
外国為替	30,546	外国為替	960
リース債権及びリース投資資産	68,041	信託勘定借	360
その他資産	152,789	その他負債	108,104
有形固定資産	34,378	退職給付に係る負債	11,653
無形固定資産	4,628	睡眠預金払戻損失引当金	499
退職給付に係る資産	42,803	偶発損失引当金	1,341
繰延税金資産	1,780	特別法上の引当金	12
支払承諾見返	38,113	繰延税金負債	115,367
貸倒引当金	△41,129	支払承諾	38,113
		負債の部合計	12,431,097
		(純資産の部)	
		資本金	52,243
		資本剰余金	59,176
		利益剰余金	512,403
		自己株式	△11,576
		株主資本合計	612,246
		その他有価証券評価差額金	268,743
		繰延ヘッジ損益	15,670
		退職給付に係る調整累計額	12,266
		その他の包括利益累計額合計	296,680
		新株予約権	271
		非支配株主持分	3,499
		純資産の部合計	912,698
資産の部合計	13,343,796	負債及び純資産の部合計	13,343,796

■ 連結損益計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)	
科目	金額
経常収益	151,349
資金運用収益	72,803
(うち貸出金利息)	(41,893)
(うち有価証券利息配当金)	(26,989)
信託報酬	7
役務取引等収益	22,010
特定取引収益	2,063
その他業務収益	44,177
その他経常収益	10,287
経常費用	113,301
資金調達費用	4,318
(うち預金利息)	(594)
役務取引等費用	5,600
その他業務費用	37,263
営業経費	54,038
その他経常費用	12,080
経常利益	38,047
特別利益	762
特別損失	754
税金等調整前当期純利益	38,055
法人税、住民税及び事業税	8,950
法人税等調整額	2,254
法人税等合計	11,204
当期純利益	26,850
非支配株主に帰属する当期純利益	182
親会社株主に帰属する当期純利益	26,667

注：今年度より団体信用生命保険の配当金を、その他経常収益から役務取引等費用の減少に表示箇所を変更しています。

2022年3月期 単体決算の状況

■ 貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位：百万円)		(単位：百万円)	
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	4,031,655	預金	8,066,627
コールローン	20,000	譲渡性預金	156,457
買入金銭債権	116,411	コールマネー	1,504,861
特定取引資産	13,370	売現先勘定	53,041
金銭の信託	79,448	債券貸借取引受入担保金	322,484
有価証券	2,809,850	特定取引負債	4,279
貸出金	5,974,071	借入金	2,080,959
外国為替	30,546	外国為替	960
その他資産	132,812	信託勘定借	360
有形固定資産	25,924	その他負債	81,636
無形固定資産	4,471	退職給付引当金	10,236
前払年金費用	23,756	睡眠預金払戻損失引当金	499
支払承諾見返	38,113	偶発損失引当金	1,341
貸倒引当金	△35,232	繰延税金負債	109,329
		支払承諾	38,113
		負債の部合計	12,431,189
		(純資産の部)	
		資本金	52,243
		資本剰余金	32,557
		資本準備金	29,609
		その他資本剰余金	2,948
		利益剰余金	477,569
		利益準備金	47,610
		その他利益剰余金	429,959
		固定資産圧縮積立金	1,095
		別途積立金	399,600
		繰越利益剰余金	29,263
		自己株式	△11,576
		株主資本合計	550,794
		その他有価証券評価差額金	267,274
		繰延ヘッジ損益	15,670
		評価・換算差額等合計	282,945
		新株予約権	271
		純資産の部合計	834,011
資産の部合計	13,265,200	負債及び純資産の部合計	13,265,200

■ 損益計算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：百万円)	
科目	金額
経常収益	111,915
資金運用収益	72,676
(うち貸出金利息)	(41,922)
(うち有価証券利息配当金)	(26,874)
信託報酬	7
役務取引等収益	17,847
特定取引収益	198
その他業務収益	10,941
その他経常収益	10,243
経常費用	80,550
資金調達費用	4,289
(うち預金利息)	(594)
役務取引等費用	7,893
その他業務費用	7,748
営業経費	48,510
その他経常費用	12,108
経常利益	31,365
特別利益	762
特別損失	754
税引前当期純利益	31,373
法人税、住民税及び事業税	7,081
法人税等調整額	1,895
法人税等合計	8,977
当期純利益	22,396

注：今年度より団体信用生命保険の配当金を、その他経常収益から役務取引等費用の減少に表示箇所を変更しています。

株式のご案内

- 証券コード 8359
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 単元未満株式の買取・買増制度 単元未満株式(1~99株)について、買取制度および買増制度を実施しております。単元未満株式が証券会社等の口座に記録されている場合はお取引口座のある証券会社等に、また、特別口座に記録されている場合は右記までお問い合わせください。
- 配当金 期末配当金は定時株主総会終了後、中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、それぞれ期末配当金・中間配当金基準日の株主等にお支払いいたします。
- 基準日 定時株主総会:3月31日 期末配当金:3月31日
中間配当金:9月30日
そのほか必要があるときは、基準日をあらかじめ公告いたします。
- 公告方法 電子公告により当行ホームページに掲載いたします。
公告掲載URL <https://www.82bank.co.jp/>
(事故等やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、信濃毎日新聞及び日本経済新聞に掲載いたします。)

■株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間/9:00~17:00 (土・日・祝日及び12/31~1/3を除く) [郵送先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お電話でのお問い合わせ・ご相談

八十二のハローはちに 音声ガイダンスにより操作してください。
電話 **0120-82-8682** (通話料無料) ★携帯電話からもご利用いただけます。

- ◆商品・サービスに関するお問い合わせ・ご相談
サービス内容により受付時間が異なります。
- ◆当行へのご意見・ご要望・苦情(お客さま相談室)
受付時間/9:00~17:00
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)
- ◆金融円滑化相談時の苦情(金融円滑化苦情窓口)
受付時間/9:00~17:00
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)

銀行に関するさまざまなご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口(金融分野における裁判外紛争解決制度)

■全国銀行協会相談室

電話 0570-017109 または 03-5252-3772
受付日/月~金曜
(祝日及び銀行の休業日を除く)
受付時間/9:00~17:00

■証券・金融商品あっせん相談センター

電話 0120-64-5005
受付日/月~金曜
(祝日及び銀行の休業日を除く)
受付時間/9:00~17:00

■信託協会信託相談所

電話 0120-817-335 または 03-6206-3988
受付日/月~金曜
(祝日及び銀行の休業日を除く)
受付時間/9:00~17:15



八十二銀行

2022年6月発行/編集:八十二銀行 企画部

〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8 電話(026)227-1182

<https://www.82bank.co.jp/>



この印刷物は、環境に配慮した
植物性インキを使用しています。



ミックス
責任ある水産資源を
使用した紙
FSC® C008865